



西表島 高那地区・豊原地区の訪問行動実施！

9日は、高那地域の訪問行動を実施。40歳以上の名簿上の住民は6人です。地番を頼りに聞き歩いて5人の方にアンケートを渡しました。1人は、半年前に転居されていました。

10日は西表島豊原地区の住民訪問を行いました。この地区では、集団記入会が開けないとのことで公民館長さんと打ち合わせをして地域医療・福祉研究所の調査員が90戸を訪問しました。病弱で一人暮らしの方、90才でもトラクターを運転して農作業をされている方などにお会いできました。

この訪問には、ボランティア調査員として城間愛子沖縄医療生協まちづくり推進部長も参加してくださいました。

そのあと大原地区と大富地区の公民館長さんと懇談。「調査は大事な内容。地域の人に呼びかけて有意義なものにしたいから時間が欲しい。」と熱心な要望があり、急遽12月に第3次調査を行い、もう一度西表島で集団記入会を行うこととなりました。

それぞれお忙しい仕事をお持ちですが、夜遅くまで地域の福祉について熱心に語られる姿に、調査を成功させて竹富町の地域福祉に活かせるようにしなければという思いを一層強くしました。



訪問先でアンケートの目的や内容などを説明



アンケートの入った封筒を手渡し

ぱいぬ島共生意識・要求アンケート調査に参加して・・・



大富地区の公民館長の話を聞く城間愛子さん

9日10日は、沖縄医療生協まちづくり推進部の城間愛子部長が、ボランティア参加して下さいました。この期間のアンケート記入会はありませんでしたが、地域訪問や公民館長さんとの記入会の打ち合わせなどがありました。城間さんからは「地域調査の方法を初めて見て勉強になりました。アンケートの回収だけでなく地域をよく見て理解することが重要。この後の報告会でどのような事が話されるのか楽しみです」と感想を頂きました。

城間さんが活躍して下さる中、調査員の高橋は風邪でダウン西表島の宿舎で2日間寝込みました。西表島東部の大原診療所を受診。離島医療のありがたさを実感しました！

